2021 年度　聖学院大学

教員免許状更新講習　募集要項

＝申込期間＝

2021 年５月８日（土）　～　６月 11 日（金）

＝受講資格＝

普通免許状または特別免許状を有し、令和４年３月３１日が
修了確認期限（旧免許状）・有効期間満了日（新免許状）で、
修了に必要な受講時間に達していない方、
もしくは令和５年３月３１日までに修了確認期限・有効期間満了日がある方。

＝実施方法＝

今年度は全講習をオンライン（オンデマンド型/同時双方向型）にて実施します。

※１講習につき、オンデマンド型と同時双方向型を組み合わせて、
合計６時間の受講が必要です。

＝実施日程＝

オンデマンド型…８月１日（日）配信開始
同時双方向型…８月７日（土）～21 日（土）
※各講習の実施日程詳細は４頁参照
※オンデマンド型/同時双方向型については２頁参照

聖学院大学　教育支援課

〒362-8585　埼玉県上尾市戸崎1－1　受付:月～金(9:00～16:00)
TEL:048-780-1801　FAX:048-780-1804
e-mail:kyoshoku@seigakuin-univ.ac.jp　大学 HP:https://www.seigakuin.jp

◎受講の概要

講習は全てオンライン(オンデマンド型/同時双方向型)で実施し、対面の講習は行いません。

オンデマンド型

音声付き Power Point 資料や動画による受講

配信された授業資料や課題に取り組むことで、
受講をすすめる形態。
受講者の都合のいい時間に学ぶことが出来る。
※認定試験までに受講を終える必要がある。

同時双方向型

インターネットを介してリアルタイムに音声や動画を受講

リアルタイムに配信される講習を、
インターネットを介して受講する形態。
※認定試験はこの形態で実施。
本人確認のためカメラが必要。

本更新講習では、Microsoft Teams を用いて、オンデマンド型/同時双方向型を実施します。
受講決定後に、期間限定の Microsoft アカウント(ID・パスワード)を配布します。

※Microsoft Teams とは、Word や Excel などのソフトを発行している Microsoft 社が提供している
「オンライン会議ソフト(システム)」です。
Microsoft アカウント取得後、「Teams」と合わせて Word・Excel の利用も可能になります。
※Microsoft Teams の利用方法などは、本決定通知と併せてご案内いたします。

◎受講にあたり必要なこと

〇基本的なパソコン操作

ファイルのダウンロードや印刷、Word/Excel/PowerPoint の操作・利用

〇パソコン、WEB カメラ、マイクの使用

同時双方向型では本人確認や発言する機会があります。
※パソコンにカメラとマイクが内蔵されている場合、追加でご準備いただく必要はありません。
※スマートフォンでの受講も可能ですが、画面のサイズや性能面からパソコンでの受講を推奨しています。
※スマートフォンとパソコンを併用する場合、カメラとマイクの購入は必要ありません。
（詳しい使い方・操作方法は「本決定通知」と併せてお知らせします。）

〇安定した通信環境

動画視聴やリアルタイム配信の受信が可能な通信環境が必要です。

〇パソコンに下記ソフトのインストール

- **Acrobat Reader 等の PDF ファイル閲覧ソフト**
- **Microsoft Teams(受講決定後、期間限定の無償ダウンロード可)**
- **Microsoft Word・Excel・PowerPoint(Teams 同様に受講決定後、期間限定の無償ダウンロード可。)**

※既にインストール済の場合、2016・2019 を推奨します。

◎受講料及び納入期限・方法

受講料：6,000 円/1 講習（6 時間）

※本学にて講習時間の全て(必修領域 1 講習、選択必修領域 1 講習、選択領域 3 講習の計 5 講習)を
満たす場合は、30,000 円になります。

納入期限及び納入方法は、「受講仮決定通知」(次頁参照)にてお知らせします。

振込手数料は受講者負担となります。
また振込の際のご利用明細をもって、本学の領収証とさせていただきます。
(補助申請等により領収書が必要な場合、事務局にご相談ください。)

受講料納入期間内にお振込いただけなかった場合、「本受講申込書」が提出されていても、
受講の意思のないものとして受講仮決定を取り消させていただきます。

申込から受講決定までの流れ

0.申し込み

申込期間：2021 年 5 月 8 日（土）10:00 ～ 2021 年 6 月 11 日(金)

申込方法：申込フォームより WEB 申し込み

（「申込フォーム」は聖学院大学 HP 内、『教員免許状更新講習』ページにございます。）

―申込に際しての注意―

・先着順につき、定員に達し次第受付を終了いたします。お早めにお申し込みください。

・同一免許種の方のお申し込み多数の場合、定員内でも受講人数を制限させていただきます。

・登録内容に不備があった場合、受講を許可できない場合があります。

1.申込受付通知

申し込み完了後、申込内容の確認として「申込受付通知」を送信します。

※**申込時にご登録いただいた e-mail アドレス宛**に送信します。

※Word や PDF のファイルを保存・印刷できるアドレスをご登録ください。

※受講の仮決定通知ではございませんのでご注意ください。

2. 受講の仮決定通知

受講いただける方に「受講仮決定通知」をメールにて送信します。

※受講いただけない方にも、その旨メールにてご連絡します。

・講習名、受講料、受講料振込先をご確認いただきます。

・本受講申込書、事前アンケートについて URL リンクをお送りします。
各自ダウンロード・印刷をお願いします。

3. 受講料振込み、本受講申込書の提出

受講料振込：「受講仮決定通知」に記載されている振込先にお振込みください。

書類提出：「本受講申込書」と「事前アンケート」を印刷の上、郵送にてご提出ください。

※「本受講申込書」には先生方の所属する学校/幼稚園の校長先生/園長先生の
署名・捺印(公印)が必要となりますので、余裕をもってご手続きください。

※「本受講申込書」には証明写真の貼付が必要です。

4. 受講の本決定通知

受講料の入金と書類の提出を確認後、7 月上旬頃までにメールにて受講決定のご連絡をいたします。

併せて「受講の手引き」「Microsoft アカウント」等をご案内いたします。

≪ここまでの手続きにより受講が決定されます≫

※受講決定後、止むを得ずキャンセルされる場合は、至急ご連絡ください。

7 月 31 日(土)までにご連絡いただいた場合、受講料は返金致します（手数料などを除く）。

◎講習一覧

講義名	同時双方向 実施日：実施時間 オンデマンド*	定員（名）	職種			主な対象				
			教諭	養護	栄養	幼	小	中高	特支	養護
必修領域　6時間										
『教育の最新事情』	8/7(土)：1.5時間 4.5時間	200	○	○	○					
選択必修領域/下記講習のうち1講習を選択										
『学校の内外における連携協力』	8/7(土)：1時間 5時間	50	○			○	○	○	○	
『異文化間教育』	8/7(土)：2時間 4時間	40	○	○		○	○			○
『小学校英語教育』	8/18(水)：6時間 0時間	30	○			○	○	○ (英語)	○	
『子ども虐待の理解と対応』	8/21(土)：1時間 5時間	80	○	○		○	○	○	○	○
選択領域/下記講習から3講習を選択										
『児童生徒の問題理解とその指導』	8/7(土)：3時間 3時間	100	○	○			○	○	○	○
『子どもの遊びと学習の文化』	8/7(土)：2時間 4時間	70	○			○	○			
『学校教育におけるメンタルヘルスと福祉教育』	8/17(火)：3時間 3時間	50	○	○		○	○	○	○	○
『大学入学共通テストと進路指導』	8/20(金)：4時間 2時間	50	○					○		
『特別支援教育の基本理解』	8/21(土)：1時間 5時間	100	○	○		○	○	○	○	○
『一人一人の子どもの理解』	8/21(土)：1時間 5時間	50	○	○		○	○			○
『教育現場における情報の倫理とセキュリティ』	8/21(土)：2時間 4時間	70	○			○	○	○	○	

・同時双方向型講義とオンデマンド型講義を組み合わせて、１講習につき計６時間の受講が必要です。

・同時双方向型講義の実施予定時間は、次頁「講習内容」を参照してください。

◎講習内容

※認定試験については、同時双方向型講義の日程内で実施するものとする。

『教育の最新事情』：必修領域			
講師	井上　兼生（人文学部日本文化学科特任教授） 森岡　由起子（心理福祉学部心理福祉学科特任教授）		
同時双方向型講義	8/7(土)：①9:00～10:00,10:30～11:00 ②9:30～10:00, 10:30～11:30 ※		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/7(土)の間に 4.5 時間受講		
本講習では、免許状更新講習での必修領域である「教育の最新事情」における、「国の教育政策や世界の教育動向」、「教員としての子ども観、教育観についての省察」、「子供の発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。			
試験日	8/7(土)	備考	※①,②のいずれかを受講
『学校の内外における連携協力』：選択必修領域			
講師	丸山　綱男（人文学部児童学科非常勤講師）		
同時双方向型講義	8/7(土)12:00～13:00		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/7(土)の間に 5 時間受講		
本講習では、講義と演習を通して、次の2点について学ぶ。現職教員等が、学校内外の問題に対する組織的対応の必要性と学校における危機管理上の課題について理解を深め、新たな視点と展望を持って専門性と実践力を高める機会としていく。			
試験日	8/7(土)	備考	ー
『異文化間教育』：選択必修領域			
講師	佐藤　千瀬（人文学部児童学科准教授）		
同時双方向型講義	8/7(土)12:00～13:00、13:10～14:10		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/7(土)の間に 4 時間受講		
現在、「海外子女」「帰国児童」「外国人児童」等の数は過去最高を更新しており、新幼稚園教育要領「総則」と新小学校学習指導要領「総則」には、海外から帰国した幼児/児童等の幼稚園/学校生活への適応や、日本語の習得に困難のある児童に対する日本語指導に関する項目が新設された。このような複数言語・文化環境で育つ子どもの言語発達、異文化適応等の理論を学び、長期的な視野を持って今、目の前にいる子どもたちの保育・教育と家庭支援をする際にどのようなことが大切になるのか、理論と実践を結び付けて考える。			
試験日	8/7(土)	備考	ー
『小学校英語教育』：選択必修領域			
講師	東　仁美（人文学部欧米文化学科教授） 小川　隆夫（人文学部児童学科特任教授）		
同時双方向型講義	8/18(水)9:00～16:40 ※1 時間ごとに 10 分休憩、12:20～13:20 にお昼休み		
オンデマンド型講義	ー		
小学校における外国語活動・外国語の指導に必要な知識・技能・英語力について考え、学習指導要領を理解し、中学年の外国語活動及び高学年の外国語の主教材の趣旨・特徴・構成、効果的な使用方法を学ぶ。また、子どもの第二言語習得の特徴を指導に生かすことができるようにする。小学校英語教育の指導内容を体験し、発表活動や教室英語の演習も行う。 早期英語教育に関心がある中高、幼稚園教諭の参加も歓迎する。			
試験日	8/18(水)	備考	ー

『子ども虐待の理解と対応』：選択必修領域			
講師	中谷　茂一（心理福祉学部心理福祉学科教授）		
同時双方向型講義	8/21(土)12:00～13:00		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/21(土)の間に 5 時間受講		
子どもの問題行動の背景に虐待が隠れている場合があり、保護者対応を含め苦慮している教員も多いと思われる。各種統計・映像資料を用いながら、現状と課題及び対応方法が具体的にイメージできるよう解説する。虐待の定義、関連法規・虐待対応制度、被虐待児の特性などについて扱う。深刻な事例以外の通常の指導場面でも応用できる要素を含む。			
試験日	8/21(土)	備考	ー
『児童生徒の問題理解とその指導』：選択領域			
講師	堀　恭子（心理福祉学部心理福祉学科特任教授）		
同時双方向型講義	8/7(土)13:20～16:40　※1 時間ごとに 10 分休憩		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/7(土)の間に 3 時間受講		
昨今の児童生徒の抱える課題は、児童生徒個人の問題というよりは、個人とその環境との様々な関係性の上に生じていることが多い。本講習では、一つの課題に複数の視点をもって取り組むことや、「チーム学校」への理解を深めていくことを目標とする。参加者自身の経験への振り返りやワークから得られた実感を通して、ケースを多角的な視点から検討する実習を行う。			
試験日	8/7(土)	備考	ー
『子どもの遊びと学習の文化』：選択領域			
講師	寺﨑　恵子（人文学部児童学科准教授）		
同時双方向型講義	8/7(土)14:30～16:40　※1 時間ごとに 10 分休憩		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/7(土)の間に 4 時間受講		
子どもの教育を考えるとき、子どもたちが生き生きとして楽しんで学ぶ様子に、私たちは望ましさを感じる。この講習では、「文化 culture（土を耕して芽生えるようにする）」、「楽しませる entertain（よい状態を保つ、養う、支えあう）」、「関心 interest（おもしろがる、あいだにある）」に着目する。遊びと学びのあいだで子どもの遊び心が学ぶ意欲に発展するような主体的活動、とくに、からだの感覚に結びついた言語活動について、「学びに向かう力」を確認しながら考察する。			
試験日	8/7(土)	備考	ー
『学校教育におけるメンタルヘルスと福祉教育』：選択領域			
講師	相川　章子（心理福祉学部心理福祉学科教授）		
同時双方向型講義	8/17(火)13:20～16:40　※1 時間ごとに 10 分休憩		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/17(火)の間に 3 時間受講		
近年、子どもたちの中でいじめや不登校、子どもの貧困、様々な障害などメンタルヘルスの課題が顕在化している。同時に、教職員のメンタルヘルスの課題も深刻化している。本講座では、生きづらさを感じながら子ども時代を生きぬいてきた当事者を招き、その経験の語りを共有した上で、今、目の前の子どもたちに何ができるのかをグループワークを通して具体的に検討する。今後の教育のあり方として教員が孤立することなく、エンパワメントされる体制について当事者とともに学び、考える機会としたい。			
試験日	8/17(火)	備考	ー

『大学入学共通テストと進路指導』：選択領域			
講師	熊谷　芳郎（人文学部日本文化学科特任教授）		
同時双方向型講義	8/20(金)10:10～15:30　※1 時間ごとに 10 分休憩、12:20～13：20 にお昼休み		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/20(金)の間に 2 時間受講		
本年 1 月に第 1 回の大学入学共通テストが実施された。本講座では、その大学入学共通テストによって、中高接続、高大接続の環境は今どのように変化しようとしているのかを概説する。さらに、その状況を踏まえて、中学校・高等学校の進路指導はどうあるべきなのかについて具体的な事例を挙げて考察する。			
試験日	8/20(金)	備考	ー
『特別支援教育の基本理解』：選択領域			
講師	齋藤　一雄（人文学部児童学科特任教授）		
同時双方向型講義	8/21(土)10:30～11:30		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/21(土)の間に 5 時間受講		
特別支援教育の基礎となる障害のとらえ方について、国際生活機能分類の考え方を紹介する。また、通常の児童生徒を対象にした絵本や映像を使った障害理解教育とインクルーシブ教育システムとはどういうものかを概説する。そして、通常の教科を中心とした教育課程とは異なり、生活を中心とした知的障害児の教育課程について、基本的な考え方や日課表と実践事例、教科書、教材例などを紹介する。			
試験日	8/21(土)	備考	ー
『一人一人の子どもの理解』：選択領域			
講師	田澤　薫（人文学部児童学科教授）		
同時双方向型講義	8/21(土)9:00～10:00		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/21(土)の間に 5 時間受講		
一人一人の子どもの意思は、言動を見取りその意味を省察することで汲み取ることができるようになる。言葉で伝えられず、何を考えているか、何に困っているかわからない子どもの思いに気付き、保育・教育に活かせる理論と方法を具体的な事例から学び、事柄を子どもの論理で捉える見方を磨く。見えにくい貧困等、家庭的な背景についても学ぶ。			
試験日	8/21(土)	備考	ー
『教育現場における情報の倫理とセキュリティ』：選択領域			
講師	渡邊　正人（基礎総合教育部教授）		
同時双方向型講義	8/21(土)14:30～16:40　※1 時間ごとに 10 分休憩		
オンデマンド型講義	8/1(日)～8/21(土)の間に 4 時間受講		
現代社会での情報化の進展に伴い、教育現場でも情報化への対応が課題となっている。本講習ではそれによって深刻化するネットいじめなどをはじめとした「情報モラル」、著作権などの「教育における ICT 活用」を中心に情報化のあり方と問題点を考える。また、生徒児童が日常触れる情報機器に潜む危険性とそのセキュリティ教育、といったことや、学校だけではなく家庭における理解と協力、などについても学ぶ。			
試験日	8/21(土)	備考	ー